



■佐藤陽子さん、42歳。会社員の佐藤さんは、現在東京で一人暮らし。遠く離れた両親に毎月仕送りをしています。しかし昨今の不況で収入は減るばかり。150万の借金をかかえながら、日々の生活費にも苦しみ、最近では食欲もなく眠れない日が続いています。



(オフィス)

保健師：こんにちは。どうかされましたか？

サトウ：（元気がなく、落ち込んだ様子。）少し聞きたいことがあってきました。

保健師：なんでしょうか？

サトウ：はあ～、ちょっと……

保健師：そうですか。（やや怪訝な様子）どうぞお入りになって座ってください。

サトウ：（軽いうなずき）

保健師：お名前をお聞きしてもいいですか？

サトウ：ハイ、サトウといいます。

保健師：サトウさん、今日はどんな理由でいらっしゃいましたか？

サトウ：少し体調が悪くて…

保健師：そうでしたか？どんなふうに体調がよくないんですか？

サトウ：なんか、ちょっとだるいです……

保健師：サトウさん、今、何されていますか？

サトウ：会社勤めです。

保健師：そうですか。会社の健康診断では何か体調不良の原因について言われてませんか？

サトウ：いや特に…。

保健師：だるい以外には何かありませんか？



サ ト ウ：最近、少し食欲がないです。

保 健 師：ほかに具合悪いところはないですか？



サ ト ウ：少し眠れない時もあります。

保 健 師：どこかかかっている病院とかありますか？内科とか外科とか？



サ ト ウ：風邪をひいたりすると、近くの内科に行きます

保 健 師：そこの内科には相談されなかったんですか？



サ ト ウ：……………いえ……………。

保 健 師：であれば、体調不良については、まず病院いった方がいいですよ。



ここでは検査もできないですから。病院行けばいろいろ見てくれるし安心ですよ。

サ ト ウ：……………はい……………（沈んだ様子）。

保 健 師：ほかに何かありますか？



サ ト ウ：気分がすぐれない時があります。

保 健 師：体調不良であれば、気分はすぐれないですよ。辛いようだし、早く病院行った方がいいですよ。（せつかく、気分の問題を伝えたにもかかわらず、話を深めず、とにかくかかりつけの病院へ行くことを進めている）

サ ト ウ：実は…。少し死にたくなることもあって。
（言いにくそうにしながら、思い切って打ち明ける）



保 健 師：ええ、死にたくなるって！（驚き、不快な表情になる）

弱気になることもあると思いますが、体調が良くなれば
きっと元気になりますよ。



そんなバカなこと考えないようにしてくださいね。

まさか、自殺なんてしたら、みなさん困りますから、
絶対だめですよ。



サ ト ウ：はあ……………

保 健 師：なんで死にたくなるんでしょうねえ。
（少し困ったような表情）
それじゃ、病院にでも行きますか。



サ ト ウ：あの……………実は借金があって……………

保 健 師：それでは仕方ないでしょうけど。（さらに困った様子で）
ここでは借金の相談まではできないですしねえ。



サ ト ウ：……………

保 健 師：それに、借金のご家族は知ってるんですか？

サ ト ウ：いえ。

保 健 師：そんな大事なこと、ここで相談する前に、まずはご家族に
相談しなきゃ。
きっと心配して相談にのってくれるはずですよ。

サ ト ウ：実はこれを見て…（自殺対策のリーフレットを見せる）。
借金の相談ができるって書いてあるので……………

保健師：ああ、それ見てらっしゃったんですね。

ここではなくて、消費生活相談の窓口です。いつか行ってみたらいいですよ。



サトウ：・・・はい・・・でも、相談しにくくて・・・

保健師：大丈夫。相談にのってくれるし大丈夫ですよ。



サトウ：はい・・・

保健師：ほかにはよろしいですか？

サトウ：・・・はい・・・

保健師：サトウさんは体調不良もあり、眠れないし、食欲もないみたいですから、今かかっている病院に行ってみてください。



サトウ：・・・はい・・・

保健師：いろいろ悩んでるようですが、しっかり身体を見てもらえば安心だから、お医者さんに診てもらってください。

サトウ：・・・はい・・・（沈んでいる）

保健師：なんか、元気ないですね。サトウさん、しっかりしなきゃね。頑張っってね。



サトウ：はい・・・ありがとうございました。
（来た時よりさらに沈んで退席。部屋を出る）